事業所名　グループホーム虹の里伊自良

作成日：平成 22 年 10 月 18 日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者の高齢化・重度化に伴い、利用者・家族の意向や医療の連携等、方針を共有するために、さらに、繰り返し話し合う体制づくりを期待したい。	看取り基準の見直し	看取りの対応基準に、話し合いの体制について盛り込む。具体的には、利用者の状態が変化した時にはその都度、状態が安定している時にはケアプランの見直し時期等定期的な話し合いを持つこととする。	1　か月
2	6	拘束は、重度になった利用者に、安全面を優先しがちである。拘束が、常態化することのないように、常に、他に方法はないか、意識的な取り組みに期待したい。	共通認識を持つ	拘束が常態化しないよう3カ月に1回のミーティングにて継続的な確認・改善を行う。また、拘束に関する研修があれば随時職員を参加させ、内容を職員全体で共有する。	12　か月
3	54	夜間は、ポータブルトイレを持ち込み使用する人もあるため、トイレの位置や清潔感に配慮するように期待したい。	ポータブルトイレの位置の工夫と清潔保持	ミーティングにて、居室に持ち込まれているポータブルトイレについて、本人の使いやすい位置を確保しつつ、プライバシー保護や清潔面の観点からも改善点を探る。	2　か月
4	5	市とは、何でも話し合える関係ができているので、さらには、運営上の課題や現場の実情を伝えて、協力関係を築くことが望ましい。	市との協力体制の構築	運営推進会議の際、活動報告を行い、当ホームの現状や課題を定期的に伝えつつ協議を継続する。	12　か月
5					か月

注1）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。
注2）項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。